

TOPICS

こんなことを
話し合い
決めました

平成30年第1回定例会は、1月30日(火)から2月23日(金)の25日間の会期で行いました。

条例の改正や補正予算、当初予算などの議案等が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

今号では、この中から5議案を詳しく紹介します。

今回の議案等は99件

議案一覧は14～15ページに掲載。

- 報告 …………… 1件
- 条例 …………… 21件
- その他 …………… 56件
- 予算 …………… 20件
- 請願 …………… 1件



天草市議会

TOPIC
01

平成30年度天草市一般会計予算(当初予算)

天草市イルカセンター(仮称)を整備へ!!

天草市イルカセンター(仮称)整備事業を含む一般会計予算を可決

総額548億8,877万2千円となった平成30年度天草市一般会計予算は、2月7日、13日、14日の3日間にわたる予算決算委員会等で審査を行い、原案どおり可決しました。

※天草市イルカセンター(仮称)整備事業以外の当初予算の主な事業につきましては、12、13ページでご紹介します。



イルカウォッチングの拠点となる施設を!!

天草市イルカセンター(仮称)については、平成27年9月に地元関係者等で組織される建設推進協議会が設立され、これまで7回の協議を重ねられてきましたが、今年度の当初予算に約8億4,548万円の予算が計上され、いよいよ建設に向け動き出すこととなりました。

整備の目的

天草観光の目玉となっている「イルカウォッチング」の拠点となる施設を建設することにより、五和周辺での滞在時間の延長を図るとともに、市内の他の観光スポットへの誘導を図る。

整備により期待される効果

- イルカウォッチングの拠点施設として整備されることにより窓口が一本化され、観光客の利便性の向上を図ることができる。
- 施設内で水産物をはじめとする直売やレストランによる食材活用などにより水産振興や産業振興が図れる。
- 施設内で天草市全体の観光案内を行うことで、他の観光スポットへの周遊性が高まり、滞在時間の増加が期待できる。

施設の概要

- ・建設場所 天草市五和町二江
- ・建設事業費 8億4,548万9千円
- ・施設内容 イルカウォッチング受付スペース、観光案内スペース、物産販売等スペース、物販付属室(加工室)、レストラン、研修室(展示・学習スペース)、展望デッキなど

ここが聞きたい!!

質疑の内容をご紹介します

- 問** 建設後の施設の管理・運営は。
答 指定管理者制度を導入する。
- 問** 施設の年間維持費はどの程度か。
答 人件費や光熱水費を含めて、年間で最大1億100万円程度と見込んでいるが随時見直していく。
- 問** 他地域からもイルカウォッチングの船が来ているが。
答 長崎県の口之津や上天草からも船が出ている。イルカセンターの建設を機に、天草からの乗客を増やしたい。
- 問** 物産の販売はどのように行うか。
答 関係機関などで出荷協議会などを設立し、どのようなものを販売するか調整していきたい。
- 問** 建設の財源の内訳は。
答 一般財源やふるさと応援寄附金、過疎債の活用を予定している。
- ※その後、地方創生拠点整備交付金に採択され、工事費の1/2が交付されることとなりました。
- 問** 周辺の飲食店や商店への影響は。
答 地元の方と協議を行い、地域が活性化するように連携して効果を上げていきたい。